

4. 特別調査「2026年（令和8年）の景気見通し」

- ① 2026年の日本の景気見通し、「普通」が49.4%で最多。
- ② 2026年の自社の業況（景気）見通し、「普通」が63.8%で最多。
- ③ 2026年の自社の売上額伸び率見通し、「変わらない」が58.6%で最多。
- ④ 自社の業況が上向き転換点の見通し、「業況改善の見通しは立たない」が38.5%で最多。
- ⑤ 紙手形・小切手の利用状況、「そもそも使っていない」が58.6%、
『紙の手形・小切手を使っている』が23.5%、『紙の手形・小切手をやめた』が17.8%。
紙の手形・小切手を使っている理由は「取引先との慣行で使わざるを得ない」が15.5%で最多。

問1. 2026年の日本の景気見通し

2026年の日本の景気見通しについては、全体では「普通」が49.4%と最多で、『悪い』（「やや悪い」「悪い」「非常に悪い」の合計、以下同じ）が32.7%、『良い』（「非常に良い」「良い」「やや良い」の合計、以下同じ）が17.8%と続いた。

業種別では、卸売業以外の業種では、「普通」が4割前半から6割半ば、卸売業では『悪い』が4割後半でそれぞれ最多となった。

問2. 2026年の自社の業況（景気）見通し

2026年の自社の業況（景気）見通しについては、全体では「普通」が63.8%と最多で、次いで『悪い』が23.0%、『良い』が13.2%であった。

業種別では、卸売業以外の業種では、「普通」が6割台、卸売業では「普通」と『悪い』が同率（40.0%）でそれぞれ最多となった。

問3. 2026年の自社の売上額伸び率見通し

2026年の自社の売上額伸び率見通しについて、全体では「変わらない」が58.6%と最多となった。次いで『増加』（「10%未満の増加」「10～19%の増加」「20～29%の増加」「30%以上の増加」の合計）が27.6%、『減少』（「10%未満の減少」「10～19%の減少」「20～29%の減少」「30%以上の減少」の合計）が13.7%であった。

業種別では、卸売業以外の業種では「変わらない」が6割近くから6割半ばで最多となった。卸売業では、『増加』が4割で最多となった。

問4. 自社の業況が上向き転換点の見通し

自社の業況が上向き転換点の見通しについては、全体では「業況改善の見通しは立たない」が38.5%と最多で、次いで「すでに上向いている」が18.4%、「1年後」が16.1%と続いた。

業種別では、卸売業以外の業種では「業況改善の見通しは立たない」が3割近くから5割弱で最多となり、卸売業は「業況改善の見通しは立たない」と「すでに上向いている」が同率（40.0%）で最多となった。また、小売業は「1年後」が3割強で比較的高い割合となった。

問5. 紙手形・小切手の利用状況と現在の決済手段

紙手形・小切手の利用状況については、全体では「そもそも使っていない」が58.6%と最多で、次いで『紙の手形・小切手を使っている』が23.5%、『紙の手形・小切手をやめた』が17.8%と続いた。紙の手形・小切手を使っている理由は、「取引先との慣行で使わざるを得ない」が15.5%で最多となった。紙の手形・小切手をやめた場合の現在の決済手段については、「でんさい」が10.3%であった。

業種別では、全ての業種で「そもそも使っていない」が4割以上で最多となり、小売業では8割半ばで特に高くなった。紙の手形・小切手を使っている理由は、製造業、卸売業では「取引先との慣行で使わざるを得ない」が3割前後で高い割合となった。現在の決済手段については、製造業、卸売業では「でんさい」が1割台、サービス業、建設業では「インターネットバンキング」が2割前後で比較的高くなった。

問1. 2026年の日本の景気見通し

※網掛け部分は全体平均以上を示す

(%)	非常に良い	良い	やや良い	普通	やや悪い	悪い	非常に悪い
全体	-	4.6	13.2	49.4	27.0	5.7	-
製造業	-	3.6	17.9	42.9	28.6	7.1	-
卸売業	-	13.3	6.7	33.3	40.0	6.7	-
小売業	-	3.4	3.4	65.5	20.7	6.9	-
サービス業	-	2.5	15.0	47.5	32.5	2.5	-
建設業	-	3.4	17.2	55.2	17.2	6.9	-
不動産業	-	20.0	-	60.0	20.0	-	-

問2. 2026年の自社の業況(景気)見通し

※網掛け部分は全体平均以上を示す

(%)	非常に良い	良い	やや良い	普通	やや悪い	悪い	非常に悪い
全体	-	3.4	9.8	63.8	19.0	2.3	1.7
製造業	-	3.6	8.9	66.1	14.3	1.8	5.4
卸売業	-	13.3	6.7	40.0	40.0	-	-
小売業	-	-	6.9	65.5	20.7	6.9	-
サービス業	-	-	7.5	67.5	22.5	2.5	-
建設業	-	3.4	20.7	65.5	10.3	-	-
不動産業	-	20.0	-	60.0	20.0	-	-

問3. 2026年の自社の売上額伸び率見通し

※網掛け部分は全体平均以上を示す

	30%以上の増加	20~29%の増加	10~19%の増加	10%未満の増加	変わらない	10%未満の減少	10~19%の減少	20~29%の減少	30%以上の減少
全体	-	2.3	5.2	20.1	58.6	10.3	1.7	0.6	1.1
製造業	-	3.6	5.4	16.1	62.5	5.4	1.8	1.8	3.6
卸売業	-	-	6.7	33.3	33.3	26.7	-	-	-
小売業	-	3.4	-	13.8	65.5	13.8	3.4	-	-
サービス業	-	-	-	30.0	57.5	10.0	2.5	-	-
建設業	-	3.4	17.2	10.3	62.1	6.9	-	-	-
不動産業	-	-	-	40.0	40.0	20.0	-	-	-

問4. 自社の業況が上向く転換点の見通し

※網掛け部分は全体平均以上を示す

(%)	すでに上向いている	6か月以内	1年後	2年後	3年後	3年超	業況改善の見通しは立たない
全体	18.4	5.7	16.1	6.9	8.0	6.3	38.5
製造業	16.1	8.9	12.5	7.1	8.9	7.1	39.3
卸売業	40.0	6.7	6.7	-	-	6.7	40.0
小売業	6.9	-	31.0	3.4	10.3	-	48.3
サービス業	25.0	5.0	10.0	7.5	5.0	7.5	40.0
建設業	13.8	6.9	24.1	10.3	6.9	10.3	27.6
不動産業	20.0	-	-	20.0	40.0	-	20.0

問5. 紙手形・小切手の利用状況と現在の決済手段

※網掛け部分は全体平均以上を示す

(%)	紙の手形・小切手を使っている					紙の手形・小切手をやめた			そもそも使っていない	
	取引先との慣行で使わざるを得ない	経理事務の変更が困難	コスト面で現状のままが最適	でんさい、インターネットバンキング等のセキュリティ面に懸念	でんさい、インターネットバンキング等の操作面に懸念	その他	でんさい	インターネットバンキング		その他
全体	15.5	2.9	1.7	1.1	1.7	0.6	10.3	7.5	-	58.6
製造業	28.6	3.6	-	-	5.4	-	17.9	-	-	44.6
卸売業	33.3	6.7	6.7	-	-	-	13.3	-	-	40.0
小売業	3.4	-	-	-	-	3.4	6.9	-	-	86.2
サービス業	10.0	-	2.5	-	-	-	2.5	17.5	-	67.5
建設業	3.4	6.9	-	3.4	-	-	6.9	20.7	-	58.6
不動産業	-	-	20.0	20.0	-	-	20.0	-	-	40.0